

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム なかま作成日: 平成 29 年 12 月 24 日

## 目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議には、家族や民生委員、行政職員が参加しているが、メンバーが固定化し、会議の内容も画一化傾向にあるので、会議の内容や取り組みを検討し、参加委員にとっても有意義な会議となるよう取り組んでいく。	参加委員として、地域で活躍している有識者、知見者(薬剤師、駐在所の警察官、消防団員、他事業所の管理者)等の参加を要請し、ホームの運営だけでなく、地域の問題、課題等を会議の中で話し合い、地域福祉の拠点として頼られる事業所を目指していく。	12ヶ月
2	11	運営に関する職員意見の反映	朝夕の申し送り時に、職員間で気付きや気になる事を話し合っているが、毎月定期的に職員会議を開催し、職員の意見や要望、悩みや心配事に対応出来る体制を築いていく。	単に物事を決めるだけでなく、職員の要望や不満、ストレス等を表せる場としての職員会議の開催と、年に数回個人面談を行ったり、職員意見箱を作る等、職員の意見や提案を吸い上げる体制を作り、意見を反映させていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。